

産業観光 Industrial Tourism

産業観光という新しい価値観が町を変えた!

ちょうど10年前になります。観光庁が発足し、産業観光の推進が国策として位置づけられました。当時の児島は、ジーンズの一大産地としてたびたび国内外のメディアに取り上げられるなどして、デニムファンの間では相応の知名度がありました。しかし、興味をもった人が児島を訪れても、産地らしさを感じることはできませんでした。しかし、産業観光という言葉が注目される数年前、児島の繊維産業に新しい潮流が生れます。その先駆けとなったのが、ベティスミス社が設立したジーンズミュージアムでした(2003年)。ほどなくして、メーカーの直営ショップや関連ショップで衰退した商店街を活性化させる「ジーンズストリート構想」が産声をあげます。以後10年、児島のものづくりに触れることができるショップや施設が続々と誕生しました。そしてこのたび、産業観光をくくりとしたマップ「KOJIMAP(コジマップ)」も刊行。このマップを手に「世界のゴジマ」を是非体感してみてください!



01

KOJIMA JEANS STREET

児島ジーンズストリート

かつて児島でもっとも賑わっていた味野商店街をジーンズによって活性化しようと2009年に立ち上げられた「ジーンズストリート構想」。いまは約30の関連ショップが軒を並べる児島の観光スポットのひとつです。距離は日野崎住宅前から児島市民交流センターまでの約400メートル。平日にも国内外からの多数の観光客が訪れています。



1A ビッグジョン児島本店

国内で初めてジーンズの生産に成功したビッグジョン。児島に本社を置く同社の直営店がここです。入居しているのは、長年児島の人たちに愛されてきた「コシオカヤ」というテナム。売り場面積はかなりの広さです。

☎ 児島味野2-2-43
086-473-1231
9:00-17:00 年末年始休業

1B 桃太郎ジーンズ 味野本店

約30軒あるジーンズストリートの店舗のなかで最も古き店。ストリートの起点、旧野崎住宅の目の前にあります。店内は重厚かつ落ち着いた内装で、ジーンズショップというより和服を扱うお店のようです。

☎ 児島味野1-12-17
086-472-1301
10:00-19:00 年末年始休業



1C ダニアジャパン

桃太郎ジーンズ味野本店とダニアジャパン、この2店からジーンズストリートはスタートしました。児島のゆるキャラ「G-PANDA」がなぜかいつも店頭にいます。社長が着ぐるみに入っている姿も見かけます。

☎ 児島味野1-12-14
086-441-1350
9:00-18:00 年末年始休業

1D HIGHROCK

移動販売車で長く営業・販売していた同ブランドが初めて路面店に進出。主力商品は変わりずファッションで統一しています。お父さんが職人、お母さんがパターン。姉と次男が縫製という態勢も変わっていません。

☎ 児島味野1-11-6
086-472-7825
11:00-16:00 11:00-18:00 (土日祝日) 不定休



02

JEANS MUSEUM & VILLAGE

ジーンズミュージアム & ヴィレッジ

1962年に国内初のレディスジーンズのメーカーとして設立されたベティスミス社が運営しています。2003年にジーンズミュージアムを開館して以来、徐々に施設を拡充。現在はここに紹介している以外にも、ドッグランのある庭園や、季節によっては収穫が楽しめる果園もあります。目指しているのは、終日遊べるデニムのテーマパークです。

☎ 児島下の町5-2-70
086-473-4460
9:00-18:00 年末年始休業



2A ジーンズミュージアム 1号館

2003年に開館した日本で初めてのジーンズの博物館。1号館ではアメリカで誕生したジーンズの歴史や時代背景を展示品をまじえながら紹介。リバイス社から提供された「S01XX」の複製モデルなど貴重な資料が多数展示されています。

2B ジーンズミュージアム 2号館

1970年代に開催していた洗いの工場をリノベーションし建て、ウッディな通りの1号館とはがらりと雰囲気が異なります。展示は児童発祥の国産ジーンズに特化。年代別に実際のモデルや広告、PRグッズ等が美しく展示されています。



2C 体験工場

購入したジーンズに付属するボタンやリベット、革パッチを自分の好みでカスタマイズできるジーンズ体験が楽しめます。建造物は1970年代に使用されていた社員寮をリノベーションしたものです。最先端はコットンが栽培されています。



2D 縫製工場

1962年設立の児島でもっとも古いジーンズ工場です。営業時間内であれば、通りからガラス窓を通して、職人さんたちがミシンで縫っている様子を見学することができます。



2E ファクトリー アウトレット

古い倉庫を改装した雰囲気のあふれるアウトレットショップです。レディスだけでなく、メンズも揃った規模の商品をリーズナブルな価格で販売しています。人気の「Eco Betty」のグッズも豊富。児島の女性たちにも密かに人気です。



03

MORI NO 8 KATEN

森の8カテン (by rolca)

レディスのカジュアルブランド「rolca(ロールカ)」が児島の魅力を発信する場所として2017年にオープン。衣だけでなく食と住にも遊び心をもたせた複合施設。児島のイタリアンの人気店「Bono Uno」も併設。

☎ 児島小川7-13-9
086-474-3787
11:00-16:00 火曜日定休



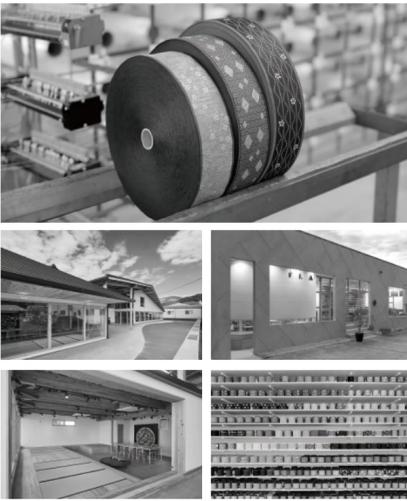
04

TAKATA ORIMONO

高田織物

児島・唐等産地は藍染の産地です。全国シェアの35%を生産しているのがここ高田織物。本社のある敷地内にはファクトリーショップ「FLAT」と、藍と藍染の魅力を発信する「SQUARE」があり、ともに趣向を凝らした斬新なデザインが目を惹きます。季節を彩る襦袢も一見の価値ありです!

☎ 児島唐等2-2-53
086-477-7162
10:00-15:00 日曜日定休



05 TCB JEANS

細部にこだわった作りでビンテージを志向する本格派デニムブランド。巨大なスレートの倉庫をリノベーションした複合店舗で、1階の縫製工場の作業を眺めながら2階のショップを歩陣してください。

☎ 児島下の町10-4-1
080-3873-8476
10:00-18:00 土日は要予約



06 Harvesty (ハーベスティ)

ゆったりとしたデザインの上質なパンツやキュロットが人気を博している新ブランドです。ショップは不定休なので、オープン日をホームページで確認してからお出かけすることをおすすめします。

☎ 児島下の町2-2-12
086-486-5207
13:00-18:00 不定休



07 arte povera (アルテ・ポベラ)

欧州の軍モノを素材にしたのリメイクを得意とするブランドです。工場の2階ではデザイナーのファクトリーショップを運営。冬のセールのセールは児島のお店でも多く出店して、さらさらお祭りのような楽しさ!

☎ 児島味野町456-98
086-472-9990
ショップの営業時間はHPで要確認



08 D.MALL 児島本店

児島の大手メーカー「ドミンゴ」が手がける直営ショップ。<オムニゴッド><D.M.G>等の自社ブランドのほか、セレクトも充実しています。メンズを販売する2階は港を眺めながら休憩もできたりします。

☎ 児島元浜町2766-1
086-473-5000
11:00-19:00 木曜日定休



09 graphzero (グラフゼロ)

倉敷の美観地区に2店舗を展開している同ブランドが昨年児島にオープン。店の奥がパントリー。隣接する建物の1階が裁断場、2階が縫製工場。希望者には工場も見学できます。

☎ 児島元浜町112-2
086-441-9056
9:00-19:00 年末年始



10 バイストン

児島の島内地区で生産される「藍染帆布」。ここではその産物会社の直営店。使えば使うほど手に馴染み、味が出るのが帆布です。その経年変化と風合いが楽しめるオリジナルグッズが多数揃っています。

☎ 皆原414-2
086-485-2112
10:00-17:00 年末年始休業



サイクリング Cycling

茶屋町から児島まで、鉄道跡の道を自転車で巡る旅。

かつて児島には下津井電鉄という鉄道が走っていました。1913年(大正2年)に児島～茶屋町間14.5kmが開通。翌14年に開通した児島～下津井間6.5kmを合わせて全線は21kmに及びました。以降、長きにわたって児島の人たちの重要な足として機能するのですが、高度成長期のモータリゼーションのありを受けて利用客は減少。72年(昭和47年)に児島～茶屋町間の運行が廃止されます。残った児島～下津井間はその後運行を続けるものの、90年(平成2年)、全国の鉄道ファンに惜しまれながら廃線となったのでした。現在、この全長21kmの鉄道跡はサイクリング・ウォーキングロードとして整備されており、ウォーキングにも最適。瀬戸内海を見渡せる絶景のビューポイントもあります。のんびりと四季を肌で感じながら、鉄道が走っていた古き良き時代へと思いを馳せる。そんな旅もまた一興です。



01 磯崎眼電記念館

茶屋町の地場産業のひとつ花ごをアートで高めた「緑葉堂(きんかんさん)」を発案・製菓した磯崎眼電。その偉業を記念し、住宅兼作業場を改装して資料等を展示。ごとの価値観が変わること受け合います!

☎ 茶屋町195
086-428-8515
9:00-16:30 月曜休館

02 藤戸寺

指定重要文化財の石造五層塔で知られています。奈良時代に行基菩薩が開基。平安滅亡後、佐々木盛綱は開基の遺徳に、大法要を催し、建物の修復まで行ったとされています。

☎ 藤戸町藤戸57
086-428-1129

03 藤戸鏡頭

岡山といえは大手まんじゅうが有名ですが、倉敷市には絶対にこの藤戸鏡頭。半透明の薄皮のなかにたっぷりつまった餡の甘さ加減が絶妙。わざわざ訪れる価値アリです。倉敷のお土産に是非どうぞ!

☎ 藤戸町藤戸48
086-428-1034
8:00-17:00 火曜定休

04 熊野神社

寛政時代の熊野道の始発点である発行者とその弟子たちが開いた神社。徳川時代に焼失した建物は1492年に再建され、種あるうちの第二階が国の重要文化財に、そのほかの階が県の重要文化財に指定されています。

☎ 林684
086-485-0105

05 五流尊厳院

701年に開山した修験道の総本山。後鳥羽上皇の遺骨を納めた国指定重要文化財の石造宝篋塔として知られています。紀伊半島の要(1878年)で焼失されたこと大久保利通が興の重要文化財に指定されています。

☎ 林952
086-485-0027

06 木津佐久耶比咩神社

中世から明治に至るまで福山山明現と称され、熊野五流一の修験道場として安んじられていました。木津佐久耶比咩命は、桜の花(木津)のごとく心身ともに麗しい日本国最古の国母の女神。

☎ 福江1671-4(サノ福山山明現内)
086-485-0047

07 住心院

児島聖徳太子御所の跡。真徳寺で知られ、毎年5月から月にかけては約800尊の法華を祀ります。あじさい園もありです。

☎ 木見1290
086-485-0225

08 柳田八幡宮

日本三大メーカーのひとつである福島の三春産物(紅梅産物)。柳田八幡宮に祀られるこの巨木の巨木を祀ります。あじさい園もありです。現在、樹齢約30年のこの三春産物がすべてに八幡宮の象徴となっています。

☎ 児島味野町1013

09 旧野崎家住宅

江戸時代末期に「徳田王」と称された野崎武左衛門の邸宅。長く児島の名所のひとつです。敷地の広さや質の良しから半壊してはありせん。岡山城よりもよほど贅を凝らして造られていたりします。

☎ 児島味野1-11-19
086-472-2001
9:00-17:00 月曜定休

10 造眼堂

野崎家の祖産物として利用されていたのがこの造眼堂です。住宅とは異なり、粗し物があることと日中の開閉となります。2月中旬から始まる「造眼堂まつり」は、造眼堂の歴史を伝えるイベントが盛り込まれ、お祭りのひとつとして、野外イベントが開催される予定もあられます。

☎ 児島味野1-9-34
086-472-2001
※観し物時のみ開催

11 児島市民交流センター

2011年にオープンした児島市民のためのこの施設です。20万冊の蔵書を持つ図書センターと、旧瀬戸大橋記念館を改装した交流棟(喫茶バーニー)は、2階は港を眺めながら休憩もできたりします。

☎ 児島味野2-2-38
086-0470-0000
9:00-17:00 月曜休館

12 下電旧児島駅

ジーンズストリートのある商店街のほど近く。現在の旧児島駅舎は緑屋敷でいます。駅の構内や車庫があったところ。駅舎のままだと見ると、遠来のの開放。現在は「風の道」のスタート地点となっています。

☎ 児島味野3-3765-2

13 児島観光港

JR児島駅から徒歩2分という好立地にあります。毎年の季節ごとのイベントも多数あり。大規模な観光施設(所要時間45分)が10時~14時の開出しています(8月は15時まで)。

☎ 児島駅前3-23
086-473-6777(児島大橋観光船協会)

14 鷺ノ山ハイランド

1971年開園の遊園地。瀬戸内海を見下ろす山の頂上であり、普通のマシンも高層遊園地大規模遊園地(所要時間45分)が10時~14時の開出しています(8月は15時まで)。

☎ 下津井駅上303-1
086-473-5111
10:00-18:00 (季節により変更あり)

15 むかし下津井回船問屋

明治時代の回船問屋の建物を復元した資料館。鮮魚の「Cantina」美味。下津井の新鮮な魚介類を使った料理は地元でも評判が高いです!

☎ 下津井1-7-23
086-479-7890
9:00-17:00 火曜定休

